

被災地での 災害ボランティア活動

6月5日(日)から6月8日(水)までの間、被災地の岩手県(陸前高田市及び大船渡市)へ、愛知県社会福祉協議会主催の災害ボランティアバスに参加させていただき、大変な被災状況を感じることができました。

現地に行くまでは、映像を通しただけの感じ方でしたが、その感じ方が現地において一変しました。現実を目で見て感じることにあまりにも大きな違いに言葉では言い表すことができないものです。

陸前高田市での作業内容は、倒壊した建物や家具を材料別に分け集めることでした。重機で集めると簡単そうですが、今もって不明者が活動場所内にいることを考慮して、最初から重機での作業は負荷をかけるためボランティアの作業となっていました。

大船渡市での作業内容は、個人宅の泥出しです。2階まで水が入り汚泥が床下に積っています。土嚢袋100個強かき出し詰め込みました。

被災地においては、家屋は破壊されているのに自然の木々は空に向かって伸びています。

「自然が作ったものは壊れない。人が作ったものは自然には勝てない」

このことを思い知らされました。

防災ボランティアサークル IN SOBUE
代表 六田 重徳



4月実施の災害ボランティアバスにて



6月実施の災害ボランティアバスにて

ボランティア活動報告

防災ボランティア サークル IN SOBUE

■団体情報■

- ・会員数 17人
- ・設立年月日 2003年4月10日

「防災ボランティアサークル IN SOBUE」では、自主防災訓練の支援、災害に対する知識を得るための講習会開催を行っています。特に各区、町内会単位での自主防災会が機能し有事には活動できるよう訓練支援を実施しています。



発行 社会福祉法人 稲沢市社会福祉協議会ボランティアセンター

〒492-8218 稲沢市西町三丁目10番24号 社会福祉会館内 TEL (0587) 23-6713 FAX (0587) 33-4666

E-mail volo-info@inazawa-shakyo.or.jp ホームページで読める!! 「あい・あい」 <http://www.inazawa-shakyo.or.jp>

稲沢市社会福祉協議会

検索

「稲沢夏まつり」でボランティアが活躍!

7月31日(日)、稲沢夏まつりが稲沢公園で開催されました。まつりには、高等学校、企業やボランティアグループなどのメンバーがボランティアとして数多く活動し、まつりを盛り上げていました。(小島)



(イラスト 松川)



参加ボランティア

- ・ 稲沢高等学校
- ・ 稲沢東高等学校
- ・ 稲沢明るい社会づくりの会
- ・ 豊田合成株式会社
- ・ ボーイスカウト日本連盟 など

写真は運営ボランティアの皆さんです。

祖父江町に「ビオトープながおか」が整備 「官民協働により管理」

4月20日(水)、地域の憩いの場と多様な生物が生息できる空間を創出することを目的として「ビオトープながおか」が祖父江町長岡地区において愛知県により整備されました。

管理者は稲沢市で、清掃業務及びビオトープ管理業務を市民活動団体「ロングヒルネット」(会員17人)が担っています。(小島)



梅雨のひとときを優しい “オカリナ”の音色につつまれて 第二大和の里「オカリナコンサート」

6月14日(火)、梅雨の晴れ間に第二大和の里にて「いな・リーナ」(稲沢オカリナーモ)のオカリナ演奏会が開催されました。来所者に合わせて「浜辺の歌」「みかんの花咲く丘」「夏は来ぬ」「通りゃんせ」「水戸黄門」などの選曲、懐かしくまた皆さんの好きな曲も多く、拍子をとったり口ずさむかたもみえて、優しいオカリナの音色に包まれて少し梅雨の蒸し暑い時を忘れオカリナの音色を堪能されているようで、優しい表情をされていました。最終の「見上げてごらん夜の星を」では拍手が続きアンコールが出るほど皆さん満足されていました。

「第二大和の里」スタッフさんの来所者を熟知されたキビキビした適切な見守りと「いな・リーナ合奏団」のチームワークの良さやアイコンタクトには感銘しました。(記事 村松(写真 小島))



節電とカキ氷



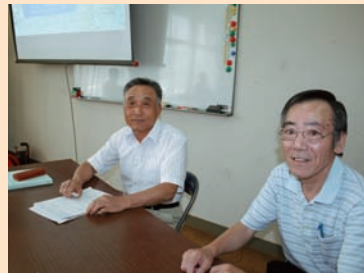
(作 松川)

稲沢市ボランティア・市民活動連絡会
〜出会いから始まる、素敵な活動〜

ボランティア・市民活動連絡会は、稲沢市社会福祉協議会ボランティアセンターに登録しているボランティア活動者(団体)相互の連絡調整及び親睦・交流を深めることなどを目的に設置しています。

7月4日(月)には、第8回定例会を社会福祉会館で開催し、「防災ボランティアサークル IN SOBU」代表の六田重徳氏による被災地支援活動の報告や情報交換などがなされました。

今後、連絡会は年数回の開催で、情報提供・交換や交流などを行い、ボランティア・市民活動のさらなる活性化を図っていきます。年度中途の加入も可能ですので、興味のあるかたは稲沢市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問い合わせください。



左: 佐久間会長、右: 山田副会長



第5回定例会の様子

- 設 立 平成21年6月15日
- 会員数 27人
- 代 表 佐久間 春生
- 問合せ 稲沢市社会福祉協議会ボランティアセンター (TEL.0587-23-6713)

ご協力ありがとうございました。(敬称略)

(平成23年5月1日～7月31日受付分)



(イラスト 松川)

【使用済み切手】 2,180g
(寄贈先: 誕生日ありがとう運動本部(神戸市))

- ・信電保育園 80g
- ・水野美智代 160g
- ・塚崎貞子 50g
- ・上田とく 40g
- ・弥富看護学校 610g
- ・社会福祉会館設置箱 40g
- ・松田敏来後援会 220g
- ・匿名 570g
- ・服部鈴江 410g

【アルミ缶(プルタブ)】 41.71kg
(寄贈先: NPO法人たんぼぼハウス(稲沢市))

- ・水谷八重 1.5kg
- ・ボランティアグループ「レインボー」 1kg
- ・ワイワイ 1.5kg
- ・(有)コンコルド1280 お客様一同 25kg
- ・北津島病院 7.5kg
- ・岩崎博 3kg
- ・匿名 2.21kg

連載

誰でも今すぐ出来るボランティアです!!

ここがポイント!

- 収集ボランティア活動は、
- ★収集目的
- ★収集方法
- ★収集後の送付先
- ★収集後の活用のおされ方を事前に調べてから始めよう!!



ペットボトルキャップ大募集!

～始めてみませんか?身近なボランティア～

1 家庭、学校、企業などでペットボトルのキャップを集めます。

2 集めたキャップは、いその株式会社(稲沢市石橋)または平和町商工会(平和町横池中之町)などで回収しています。
※キャップに貼ってあるシールは、はがしてください。

3 その後、集まったキャップは売却され、そのお金はワクチンを購入する資金にあてられます。

さらに!! ワクチンは世界中の子どもたちの元へと届けられ、その命を救います!
CO₂の削減にもなるのでとってもエコです!!



★詳しくは愛知県社会福祉協議会ホームページ「ボランティア」をご覧ください。

この情報誌は、市内在住・在勤・在学のボランティアが作成しています。

募集掲示板

新たな出会いや体験があなたを待っているよ。
問い合わせや申し込みは、ボランティアセンターへ電話してね。



依頼団体	募集依頼内容	活動日時・回数	活動場所	活動・募集内容など	募集人数	問合せ先
稲沢ボランティア 芸能グループ	メンバー募集	適宜	老人福祉 施設など	歌(ナツメロ、カラオケテー プにてフルコーラス)、踊りを 披露する活動をしています。 ※稲沢市在住で車の運転が できるかたを募集してい ます。 (面接あり) (年会費 2,000 円)	5 名	稲沢市社会福祉協議会 ボランティアセンター 0587-23-6713
稲沢市社会福祉協議会 ボランティアセンター	情報誌作成協力 ボランティア募集	適宜	取材先・ 自宅など	本誌、ボランティア・市民 活動だより「あい・あい」 の作成協力者(記者など) を募集しています。 高校生以上の情報誌づくりに 興味のあるかたであれば、 どなたでも大歓迎! 詳細は、お気軽にご連絡く ださい。	数名	

ご意見
募集!!

本誌に関するご意見はもちろん、ボランティアに関する
ご意見を郵送又はメールにて広く募集しています。

ボランティアセンター

〒492-8218 稲沢市西町三丁目10番24号
volo-info@inazawa-shakyo.or.jp

ボラメール配信 ~ボランティアに関する情報が手軽に分かる~

ボランティア活動に関する情報をメール配信しています。

メール情報配信の登録を希望する場合は件名を「ボラメール」とし、本文に「氏名」、「住所」、「電話番号」を入力の上、

volo-info@inazawa-shakyo.or.jp

までご送信ください。



- 1 もみじマーク
- 2 四つ葉マーク
- 3 若葉マーク

【答え】このマークは道路交通法に基づき、17歳以上の高齢者が対象です。

このマークは高齢者
標識です。このマーク
の名前を次の中から選
んでください。

学生ボランティア
山田ちさとが出題!
福祉
クイズ!

編集委員の声

「あいあい」を通して、いろいろなボランティアグループを取材させて
いただきました。音楽と手話での「ロビーコンサート」、稲沢市国際友好協
会の「オーケストラ お菓子教室」や老人ホームへの訪問など、皆、温かい心
で接してくださって、笑顔がすてきでした。

高齢化が進むなか、ボランティア活動をする仲間も同じ世代のかたが多
いように感じました。子どもたちにお手玉や竹馬作り、手遊びを教えたり、
昔話を語ったり、縦の繋がりを充実させて、10代、20代のかたがボランティ
ア活動に積極的に参加することにより交流も深まり、助け合いの精神が芽
生えるのではないかと思います。

私は、子どもたちに絵本を読み聞かせるボランティア活動を行っています。
読み聞かせの最中は、子どもたちのきらきら輝く眼差し、心に私も引き
寄せられ、絵本の世界に入ってしまうそうです。
(佐溝)

まちの魅力発見



平和町にある勝幡城址。
傍にある立て看板には「この勝幡城跡地は信長の祖父
織田信定公が「天の利」「地の利」「和の創造」を実行する
拠点と決め、津島港と尾張国府(稲沢市)の松下とを三宅
川で往来し、尾張西部を手中とした」とあります。

(写真 小島)